

藤沢  
税務署長  
賞

街のみどりは誰のもの？

聖園女学院中学校 三年

佐藤 みなみ

平成三十一年、小学生の私に衝撃が走った。それは、消費税の税率が8%から10%へ引き上げられたのだ。お陰で税金に無頓着な小学生の私でも税金について考えざるを得なくなった。そして、いきついた答えは、税金っていらないな、ということだった。これが小学生の頃の私の考えだった。

令和五年となり、私は中学三年生になった。私にまたもや衝撃が走った。それは、某中古車販売会社が起こした事件である。その事件は、店舗前の街路樹が全て枯れてしまうのだ。それを調べてみると、全国各地の店舗前の街路樹が枯れているどころか草一本も生えない地面と化していたのである。そして土壌から除草剤が検出されたとして、各地から警察に被害届が出されているのである。私は、この被害届を出しているのが各自治体だったことから、街路樹が私たちの税金によって守られ管理されているのだと知った。

私は、警察に密着して事件を追ったり犯罪について考えるテレビ番組が好きでよく観るのだが、ある番組で犯罪心理学者が話していたことを思い出した。それは緑や花が多い市街地や住宅地では、それが無い場所に比

べて犯罪が起りにくいということだ。理由を考えてみると、緑と花が手入れされているのはそこに人が集まって世話をしているからであり、また通りかかる人に挨拶するなどして自然と交流が生まれるからではないだろうか。私の住む町でも、花と緑をよく手入れするおじいさんがいる。近くの川沿いの遊歩道にも綺麗な桜並木と花壇がある。どちらの道も明るくて会話が弾んでいるようで歩いていて楽しい。通りかかる大人が手入れしているおじいさんと話しているのもよく見かける。その光景を思い出しながら中古車販売会社の事件報道を見ていたら、頭の中でカチッと音がした。除草剤で枯れた草木は私たちの税金で植えられたものであり、身近にある街路樹は全て私たちの大切な財産であるのだ。

私はこの夏少しだけ税金について分かった気がする。まだまだ難しいし、分からないことばかりだけど報道を通して、私が小学生の頃に思っていた税金に対する考えが改まり、私たちが納めた税金は形を変えて私たちの身近なものになっていると気付かされた。これからは小さな気付きから色んな物事を考えられる自分でありたい。

藤沢  
税務署長  
賞

税金って

茅ヶ崎市立中島中学校 三年 奈良 光

今や十円で買えるものは減っている。その背景には、原材料費の高騰や税金などがある。「十円〇〇」といった名称だけが今も根づいている。税が子どもから大人までを翻弄させているのかもしれない。

税といえども一種類ではない。日本にはたくさんの税がある。例えば、所得税、相続税、消費税、住民税、都市計画税など様々である。そして、それらは国税と地方税に分けられる。所得税、相続税、消費税などは国税とされている。住民税や都市計画税などは地方税とされている。

その中でも私たちに一番身近なのは消費税だろう。消費税はありとあらゆるものの定価に加算される。私たちの生活にはきつてもきれいなものだ。当然、その税率は子どもも大人も同じものなら同じで、容赦なく立ち上がる。

では、私たちから集めた消費税を始めとした税金はどんなことに使われているのだろうか。

主な使われ方は、道路の整備や年金、教科書の配布、警察や消防など。税金がないとそれらは全て自己負担になってしまう。今年は、とても暑い夏になっている。救急車が走らない日は無いくらい熱中症などで倒れる人が多いそうだ。もしも、救急車の手配を自分ですとなったら高額な費用がかかってしまう。実際、諸外国ではそうだ。例えば、アメリカのニューヨーク州。搬送のみ

で、八万五千元ほどかかり、救命士が同乗するとなると十四万五千元ほどかかる。その上、一キロメートル進むごとに千円ほど加算される。しかし、税金が高いといわれているスウェーデンでは、日本と同じように無料だ。

そんなスウェーデンの消費税は二十五パーセントとかなり高い。それのみか、収入の二十三パーセントを所得税として納めている。それにも関わらず、福利厚生がなっているといわれている。なぜなら、児童手当と両親手当の両方が支給されているから。加えて、出産費や二十歳までの医療費、大学までの学費も無料。病気や障害のある子どもには別途手当もあり国民の満足度がたいへん高い国となっている。

税金の額や使いみちは選挙にも影響を与える。日本の選挙投票率は十代から二十代が三十パーセント強。全年代合わせても五十パーセント前後。だが、スウェーデンは違う。十代から二十代は八十五パーセント前後で、全年代合わせると、八十パーセント超とかなり投票率が高い。

このように、国民一人一人の満足度が高いスウェーデンでは自分で国を更に良くしようといった意識の強い人が多くいる。

国民一人一人が意識を持ち、動くことが重要だと考える。簡単なことではないが、それが出来れば、税が高くて国民の満足度は向上するだろう。